

## 1. めざす学校像（学校教育目標）

### 「地域の中で生き生きと学び

### 豊かな心をもってよりよく生きる子どもの育成」

- 子どもたちが生き生きと楽しく学ぶ学校
- 一人ひとりの子どもに居場所がある学校
- 保護者・地域と教職員が手を取り合って進む学校

## 2. 重点目標

（1）主体的・協働的な学びを育む授業改善に努め、学力の定着を図ります。

- 児童一人ひとりの自己実現を支える“楽しく、分かる”授業づくり
  - ・基礎基本の定着 ・「読む・読み取る力」「書く力」の向上
  - ・課題解決力と情報活用力の向上 ・対話やふり返りの効果的な活用
  - ・学力調査等の活用 ・一人1台端末の効果的な活用 ・体力の向上
  - ・日常的な読書習慣の確立
- 授業規律の定着
- 補充学習や家庭学習の充実
- 本物の芸術や文化に触れる機会の創出と情操を育む活動

（2）仲間とともにつながり合い、高まり合う学級づくりを進めます。

- 子どもの居場所がある学級づくり、子どもと子どもをつなぐ仲間づくり
  - ・「いじめに向かわない」子どもの育成と計画的な取組
  - ・「いじめを見逃さない」学校全体での組織的な取組
  - ・診断調査（QU）等の活用 ・不登校の未然防止
- きめ細かな児童理解と支援の充実
  - ・児童に関する統合的な校内委員会 ・個別の支援計画や指導計画整備
- 自らの生き方に向き合う学習や自治活動で“自分への自信”を持つ児童

（3）保護者・地域とともにある学校づくりを進めます。

- 学校運営協議会を通じ、“保護者・地域とともにある”学校運営
- 地域の“人・もの・こと”を活用した学びの充実（地域フィールド学習）
- 地域の未来を支える地域貢献（地域体験学習）
- 保護者・地域と協働した危機管理・健康・安全教育の充実
- 学校情報の積極的な発信

（4）教職員が健康で働きやすい環境と、ワークライフバランスを大切にします。

- 明るく、健康的な職場風土
- 教職員が互いに学びあえる研修の推進
- 法令遵守意識の向上、ハラスメントの防止
- 校務の効率化と1か月あたりの時間外労働時間 25 時間以下の実現、計画的な定時退校日の実施、会議の精選と時間短縮